

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 4 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2011～2013

課題番号：23242010

研究課題名(和文) 生身と霊験 宗教的意味を踏まえた仏像の基礎的調査研究

研究課題名(英文) Shojin and Reigen-The fundamental research for the Buddhist statues focusing on the religious meaning

研究代表者

有賀 祥隆 (Ariga, Yoshitaka)

東北大学・文学研究科・名誉教授

研究者番号：20133613

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 39,600,000円、(間接経費) 11,880,000円

研究成果の概要(和文)：三か年の期間中に、調査範囲を、東北(宮城)、関東・甲信越(千葉・神奈川)に加え、関西(京都・奈良)、中国地方(山口)、四国(高知)に広げ、寺院・神社22ヶ所27件66躯;1幅、公共機関13ヶ所24件躯;1幅2面6巻、個人宅1ヶ所1件11躯;の物件を調査し、詳細な写真と基礎データを収集した。この調査データをまとめた研究成果報告書(報告編・129頁、図版編・268頁各一冊)を、2014年3月に刊行した。また、報告書を、関係研究者、関係機関に配布することにより、研究成果を広く社会に公開し、多くの分野への学術的寄与を果たした。

研究成果の概要(英文)：During three years, we have conducted the research in the area including Tohoku(Miyagi), Kanto/Koshinetsu(Chiba, Kanagawa), Kansai(Kyoto, Nara), Chugoku district(Yamaguchi), Shikoku(Kochi). Therefore we got the data and photos of 102 statues. After we finished the research, we published the research report (volume of texts: 129pages, volume of figures: 268pages) on March, 2014. Because of the distribution of the reports, we believe that we could make an important contribution to academic world and so ciety.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学 美学・美術史

キーワード：生身仏 霊験仏 清凉寺式釈迦 長谷寺 快慶 定慶 東国の仏像 阿弥陀

### 1. 研究開始当初の背景

本研究グループは平成8年度以来、科学研究費補助金によって宗教彫像の調査研究を遂行し、詳細な報告書を刊行してきた。その活動を通し、仏像の意味に関わる、生身観および験と仏像の関わりを重視するに至った。このうち生身は、現世に生じた仏身を意味する仏教語であり、仏像をそのように見立てるために、像にはさまざまな造形上の工夫を与えることがおこなわれた。また、霊験と関わる仏像は、置かれる土地とのつながりが深く、光背や台座などの荘厳に霊験を象徴する表現が込められた。そのような特色ある仏像への関心を本研究グループは深め、本研究の立案に至った。

### 2. 研究の目的

「生身」と「霊験」をキーワードとして、その観点から見た特色を持つ仏像を調査することを通し、仏像を解析する新たな方法論を構築する。(1) 生身仏とされた仏像については、内部の仕上げと納入品、仏像の外部への特殊な加工、像へなされる行為の復元を重視して調査をおこなう。(2) 霊験と仏像の観点からは、霊験仏の素材、霊験仏の荘厳、霊験寺地の意味とその地形、霊験仏を成り立たせる物語とその絵画に注目して調査をおこなう。これらの調査成果に基づき、宗教的意味を踏まえて仏像を考察するための基礎資料を集成する。また、その成果を報告書として刊行し広く成果を社会へと還元する。この研究をとおし、仏像が人間や環境とどれほど豊かな関係を持っていたかを示し、従来の宗教研究に対しても新たな研究素材を提供することを目指す。

### 3. 研究の方法

(1) 生身と仏像、(2) 霊験と仏像の二つのカテゴリーを立て、それぞれに関わる仏像について、像自体の調査と、伝承及び環

境の調査を平行しておこない、対象となる仏像を総合的に把握する。(1)(2)の各カテゴリーにはより具体的な項目を設定し、項目に応じた作例を調査する。また、(2)においては、霊験仏を成立させる伝承を伝える絵画作品を調査し、伝承を支える古代～中世の心性の析出に努める。これらの調査データをデジタルデータとして蓄積する。また、冊子体の報告書を作成・公開し、成果を広く学界ならびに社会に提供してゆく。

### 4. 研究成果

以上のような目的と方法に沿って、三か年の期間中に、調査範囲を、東北(宮城) 関東・甲信越(千葉・神奈川)に加え、関西(京都・奈良) 中国地方(山口) 四国(高知)に広げ、寺院・神社 22ヶ所 27件 66軀 1幅、公共機関 13ヶ所 24件 25軀 1幅 2面 6巻、個人宅 1ヶ所 1件 11軀の物件を調査し、詳細な写真と基礎データを収集した。

調査物件ならびに所蔵者は以下の通りである。

千手観音菩薩像、不動明王像、毘沙門天像(寺浦共有地組合・旧小松寺) 阿弥陀如来像二軀(光明院)、阿弥陀如来像(珠光寺)、金剛力士像二軀(黒川神社)、釈迦如来像(龍宝寺) 聖観音菩薩像(亀岡観音堂・法楽院) 阿弥陀如来像(保昌寺)、阿弥陀如来像四軀(大光院) 阿弥陀如来像(定迎寺) 菩薩形像、如来形像(高蔵寺、以上宮城) 薬師如来像(龍角寺) 薬師如来像(福秀寺、釈迦如来像(正覚院) 釈迦如来像(永興寺) 薬師如来像(東光院) 薬師如来像(小松寺、以上千葉) 千手観音菩薩像(東京・観音寺) 天部像(大善寺) 釈迦如来像(称名寺) 陵王面、抜頭面(瀬戸神社) 阿弥陀如来及び両脇侍像(常楽寺) 阿弥陀如来及び両脇侍像(円覚寺) 千手観音菩薩像(建長寺) 弁才天像(鶴岡八幡宮) 天神像(荏柄天神社) 十一面観音菩薩像(長谷寺) 十大弟子像(極楽寺) 頬焼阿弥陀縁起(光触寺、以上神奈

川) 日光菩薩像、月光菩薩像(山梨・大善寺) 阿弥陀如来像(京都・蓮光寺) 愛染明王像(西大寺) 閻魔王像、太山王像、司命像、司録像(白毫寺、以上奈良) 薬師如来像(香雪美術館) 閻魔王像、太山王像、冥官像その一(石峯寺、以上兵庫) 毘沙門天像、吉祥天像、善膩師童子像(高知・雪蹊寺) 毘沙門天像(個人蔵)。

この調査データをまとめた研究成果報告書(報告編・129頁、図版編・268頁各一冊)を、2014年3月に刊行した。また、報告書を、関係研究者、関係機関に配布することにより、研究成果を広く社会に公開し、多くの分野への学術的寄与を果たした。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計25件)

1. 浅井和春、高松塚古墳壁画見学断想、パラゴネ、査読無、1号、3-8頁、2014
2. 山本勉・小久保英美・神野祐太・伊波知秋、東京・上宮会所蔵聖徳太子孝養像考、清泉女子大学人文科学研究所紀要、査読有、35号、95-167頁、2014
3. 武笠朗、西照寺蔵木造親鸞聖人坐像、国華、査読無、1420、54-56頁、2014
4. 泉武夫、中尊寺蔵金字経見返絵の絵師分担について、佛教藝術、査読有、329、45-82頁、2013
5. 武笠朗、鎌倉時代の阿弥陀造像と鎌倉大仏、美学美術史学、査読無、20、305-376頁、2013
6. 津田徹英、神照寺蔵木造半肉彫千手観音菩薩立像、国華、査読有、1407、57-60頁、2013
7. 津田徹英、佛光寺本『善信聖人親鸞伝絵』の制作時期をめぐって、美術研究、査読無、408、77-170頁、2013
8. 西岡芳文・瀬谷貴之、福島県いわき市長福寺本尊地藏菩薩坐像と納入文書、金沢文庫研

究、査読無、330、1-33頁、2013

9. 浅井和春、明治仏像模刻論 岡倉天心の模造観の形成、国華、査読無、1400、32-40頁、2012
10. 山本勉、地藏院蔵木造不動明王立像、国華、査読無、1401、74-76頁、2012
11. 岩佐光晴、桂木寺蔵木造伝釈迦如来坐像、国華、査読無、1401、53-57頁、2012
12. 泉武夫、素材への視線 仏画の絵絹、学叢、査読無、34、201-215頁、2012
13. 長岡龍作、蓮華蔵世界と観音、ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集、査読無、10号、41-57頁、2012
14. 津田徹英、中世真宗の祖師先徳彫像の制作をめぐって、美術研究、査読無、406、27-47頁、2012
15. 山本勉、生身仏 仏教美術における生の意味と造形(清泉女子大学創立60周年記念国際フォーラム)、清泉女子大学キリスト教文化研究所年報、査読無、19、307-322頁、2011
16. 山本勉、地藏菩薩立像(特輯 根津コレクション)、国華、査読有、1391、55-57頁、2011
17. 岩佐光晴、善勝寺蔵鉄造阿弥陀如来坐像、国華、査読有、1393、48-50頁、2011
18. 武笠朗、光恩寺蔵木造阿弥陀如来及び両脇侍像、国華、査読有、1393、41-43頁、2011
19. 武笠朗、総持寺蔵木造伝新田義貞倚像、国華、査読有、1393、56-57頁、2011
20. 泉武夫、中尊寺経を読む2万巻の輝く經典の謎(世界文化遺産登録記念 大特集 奥州平泉とみちのくの仏たち)、芸術新潮、査読無、62(10)、42-47頁、2011
21. 長岡龍作、金剛寺蔵木造地藏菩薩半跏像、国華、査読有、1393、46-47頁、2011
22. 津田徹英、岩手・光林寺蔵 木造聖徳太子立像、美術研究、査読無、404、254-269頁、2011
23. 津田徹英、三光院蔵木造十一面観音立像、国華、査読有、1393、53-55頁、2011

- 24.川瀬由照、木造性空坐像(圓教寺開山堂安置)、国華、査読有、1386、26-31頁、2011
- 25.川瀬由照、青蓮寺蔵 銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像、国華、査読有、1393、51-53頁、2011

〔学会発表〕(計6件)

- 1.長岡龍作、仏像の顔と仏教信仰、日本顔学会フォーラム顔学(招待講演)、2013年11月9日、東北大学
- 2.長岡龍作、Buddhist Soteriology and The Functions of Figurative Art、33rd Congress of the International Committee of the History of Art、2012年7月16日、Nuremberg(Germany)
- 3.長岡龍作、蓮華蔵世界と観音 習合思想を手がかりに、ザ・グレイトブッダ・シンポジウム、2011年12月11日、東大寺総合文化センター
- 4.長岡龍作、滅罪の場としての庭園 平等院の意味を再考する、美術史学会東支部大会、2011年12月4日、仙台市博物館
- 5.武笠朗、鎌倉時代の阿弥陀造像 救済と靈験の視点から、美術史学会東支部大会、2011年12月4日、仙台市博物館
- 6.泉武夫、中世の兜率天弥勒 もうひとつの浄土信仰、美術史学会東支部大会、2011年12月4日、仙台市博物館

〔図書〕(計23件)

- 1.山本勉、長岡龍作、中央公論美術出版、日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記篇 第10巻(共著)、2014、山本勉:解説39-47、137-172頁、長岡龍作:解説56-59頁
- 2.泉武夫、竹林舎、仏教美術論集5 機能論 つくる・つかう・つたえる(共著)、2014、8-43頁
- 3.泉武夫、小学館、日本美術全集第5巻 王朝絵巻と貴族のいとなみ(責任編集)、2014、286頁

- 4.長岡龍作、敬文舎、仏像 祈りと風景、2014、319頁
- 5.長岡龍作、清文堂出版、講座東北の歴史 第五巻 信仰と芸能(共著)、2014、75-105頁
- 6.長岡龍作、竹林舎、仏教美術論集5 機能論 つくる・つかう・つたえる(編著)、2014、422頁
- 7.浅井和春、小学館、日本美術全集第3巻 東大寺・正倉院と興福寺(責任編集)、2013、288頁
- 8.山本勉・武笠朗、中央公論美術出版、日本彫刻史基礎資料集成鎌倉時代造像銘記篇第9巻(共著)、2013、山本勉:解説24-26、116-118、124-128、148-156、164-166、224-226、230-232、233-239、253-264頁、武笠朗:解説3-7、207-211、227-229、240-243頁
- 9.山本勉、平凡社、仏像 日本仏像史講義(別冊太陽40周年特別記念号)、2013、304頁
- 10.山本勉、小学館、日本美術全集第7巻 運慶・快慶と中世寺院(責任編集)、2013、287頁
- 11.岩佐光晴、牛伏寺誌刊行会、牛伏寺誌 歴史篇(共著)、2013、125-225頁
- 12.武笠朗、千葉市美術館、特別展図録仏像半島 - 房総の美しき仏たち(共著)、2013、8-18頁
- 13.長岡龍作、岩田書院、空間史学叢書1 痕跡と叙述(共著)、2013、45-68頁
- 14.長岡龍作、勉誠出版、中国中世仏教石刻の研究(共著)、2013、154-181頁
- 15.瀬谷貴之、竹林舎、仏教美術論集4 図像解釈学 権力と他者(共著)、2013、376-386頁
- 16.瀬谷貴之、神奈川県立金沢文庫、特別展図録東大寺鎌倉再建と華嚴興隆(共著)、2013、15-18頁
- 17.泉武夫、東北大学出版会、竹を吹く人々 描かれた尺八奏者の歴史と系譜、2013、129頁
- 18.有賀祥隆・長岡龍作・泉武夫・海野啓之(長

岡龍作編) 竹林舎、論集・東洋日本美術史  
と現場 見つめる・守る・伝える、2012、525  
頁

19.泉武夫・津田徹英(津田徹英編) 竹林舎、  
仏教美術史論集 2 図像学 イメージの  
成立と伝承(密教・垂跡)、2012、396 頁

20.山本勉・武笠朗、竹林舎、仏教美術史論集  
1 様式論 スタイルとモードの分析、2012、  
山本 17-31 頁、武笠 56-74 頁

21.長岡龍作(責任編集)、小学館、日本美術  
全集第 2 巻 法隆寺と奈良の寺院、2012、287  
頁

22.有賀祥隆、岩波書店、法隆寺金堂壁画 ガ  
ラス乾板から甦った白鳳の美(共著)、2011、  
183-247 頁

23.有賀祥隆、岩波書店、原寸大コロタイプ印  
刷による 法隆寺金堂壁画選、2011、15 頁

〔産業財産権〕  
出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織  
(1)研究代表者  
有賀 祥隆 (ARIGA, YOSHITAKA)  
東北大学・大学院文学研究科・名誉教授  
研究者番号：20133613

(2)研究分担者  
浅井 和春 (ASAI, KAZUHARU)

青山学院大学・文学部・教授  
研究者番号：60132700

山本 勉 (YAMAMOTO, TUTOMU)  
清泉女子大学・文学部・教授  
研究者番号：00150037

岩佐 光晴 (IWASA, MITUHARU)  
成城大学・文芸学部・教授  
研究者番号：10151713

武笠 朗 (MUKASA, AKIRA)  
実践女子大学・文学部・教授  
研究者番号：30219844

泉 武夫 (IZUMI, TAKEO)  
東北大学・大学院文学研究科・教授  
研究者番号：40168274

長岡 龍作 (NAGAOKA, RYUSAKU)  
東北大学・大学院文学研究科・教授  
研究者番号：70189108

津田 徹英 (TSUDA, TETSUEI)  
独立行政法人国立文化財機構東京文化財研  
究所・企画情報部・文化財アーカイブス研究  
室長  
研究者番号：00321555

瀬谷 貴之 (SEYA, TAKAYUKI)  
神奈川県立金沢文庫・学芸課・研究員  
研究者番号：50443411

川瀬 由照 (KAWASE, YOSHITERU)  
昭和女子大学・人間文化学部・非常勤講師  
研究者番号：00541228 (平成 23 年度)

海野 啓之 (UNNO, HIROYUKI)  
東北大学・大学院文学研究科・助手  
研究者番号：80587759 (平成 23 年度)

(3)連携研究者 ( )

研究者番号